

比内支援学校 タブレット型端末（iPad）授業活用事例
高等部の実践

○事例3

高等部1年 生活単元学習（「達子森の夏祭り」に向けたCMづくり）

○実態

タブレット端末やスマートフォンの操作経験があり、ICT機器に関心のある生徒が多い。
家庭生活中で使用することも考慮し、基本的な操作方法を身に付ける必要がある。

○使用機器 iPad mini 2

MacBook

○アプリ

	「カメラ」は、写真や動画などを撮影することのできる標準アプリである。撮影した画像は、画面下の画像マークをタップすることですぐに確認できる。ホームボタンを右側にして撮影すると上下反転しない。
	「iMovie」は、Apple 純正の動画編集アプリである。操作も簡単でテロップを挿入したり、複数の動画をつなぎ合わせたりして映画のような動画を作成することができる。パソコンのムービーメーカーと機能が似ている。

○活用の目的

CM作成に必要な素材を集めるために仲間と協力して取材を行うことで、人と関わる力を高める。また、カメラでの撮影や「iMovie」での動画編集などを行うことで、タブレット端末の基本的な操作方法を身に付ける。



←カメラ機能を使用し、地域の方に取材や撮影をしている様子

○メリット

- ・CM作成に向けてチームで取り組むことで、取材や撮影、構成等の話し合い活動が積極的に行われ、生徒主体で授業が展開された。
- ・iPadのカメラ機能を活用して撮影を繰り返し行ったことで、生徒同士で教え合う姿が見られるとともに、生徒のタブレット端末の活用スキルが向上した。

●デメリット

- ・写真や動画を撮影する際に撮影時の向きの確認、手ぶれや落下等に気を付ける必要がある。
- ・「iMovie」を使用した動画編集では、iPad mini 2の画面だと文字が小さく見にくいいため、詳細な作業がしづらい。（詳細の編集にはMacBookを活用）